

KAGAWA
ROSAI
HOSPITAL

いぶき

いぶき 第22号
 発行者 井上 一
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

乳癌で命を失われないように

第三外科部長 村岡 篤

かつて、日本は乳癌の発生率、死亡率ともに欧米諸国と比べて非常に低く、医学界の七不思議の一つともいわれていました。しかし、近年本邦での乳癌発生率は急速に増加し、20年前に比べ約4倍、女性の癌の罹患率は1位、それに付随して死亡率も増加し、第4位となつてしまいました。さて、何がこの20年で変わってきたのでしょうか？私たちの生活を見回してみますと、やはり食生活の変化が一番ではないかと思われまます。種々のレトルト食品の氾濫、昔は高級食材であつた洋菓子が身近になつたことなど痛感します。専門家も食生活の欧米化、ライフスタイルの変化(高齢出産、少出産化など)が原因ではないかと考えています。



香川労災病院

土器川
香川労災病院の近くを流れる土器川は、香川県琴南町と徳島県三野町の堺にある讃岐山脈にその源を発し、中讃地域を南北に貫流して瀬戸内海に注ぐ香川県唯一の一級河川です。

女性のシンボルともいえる乳房がすべてなくなり、喪失感にさいなまれる女性もたくさんおられました。現在では乳房を全部とるのではなく、部分的に癌のところの乳腺を切除する乳房温存手術が普及し、当院でも

人女性のようにスマートな体型を維持することが一番でしょうが、なかなか、色々な誘惑を振り払うことは困難ですし、それだけが原因ともいえません。このため、早期に乳癌を発見しようという試みが日本全国にも広がってきました。これが、乳癌マンモグラフィー検診の普及です。乳癌は早期に発見すれば90%以上治ることも分かっていますので、できるだけ、小さいうちに発見しようとする試みで

す。マンモグラフィーは、乳房を特殊な装置ではさんでX線撮影を行う検査です。痛みを伴いますが、触知しないような小さな病変をみつけることもできます。以前は、乳癌検診といえは視触診でしたが、当香川県でもマンモグラフィー併用検診(2年毎)が導入されております。しかし、マンモグラフィーも万能ではなく、撮影されない乳癌もあるために、超音波検査、MRI検査などを併用して診断していきます。

運悪く、乳癌が発見された場合、10年前までは、ほとんど乳房切除術がなされてきました。女性ながら、すでに腋窩にリンパ節転移を来している方には適応できませんが、早期乳癌の方には適応できることが多く、術後の日常生活も苦痛なく送れるため、非常に有効な方法で、当院でも、積極的に行っております。

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

約80%の乳癌の方に温存手術を行っております。それに加えて、センチネルリンパ節生検が普及してきました。これは、不必要な腋窩(わきのした)リンパ節郭清を省き、術後のリンパ浮腫を起さないようにする手技です。残念ながら、すでに腋窩にリンパ節転移を来している方には適応できませんが、早期乳癌の方には適応できることが多く、術後の日常生活も苦痛なく送れるため、非常に有効な方法で、当院でも、積極的に行っております。

されております。これは、乳癌治療に関わる医療者の熱意の表れと思われませんが、治療法がある日突然のように変わってしまったこともあるため、医療者、患者さん共にとまどうことがあるのも事実です。抗癌剤をはじめとする薬剤の変化、術前化学療法的发展などめざましい変化が起きていますが、それに追従できるように切磋琢磨し診療を行ってきております。

◆◆◆◆◆ インフルエンザの話 ◆◆◆◆◆

冬の定番、インフルエンザについてお話しいたします。

まず、名前の由来についてですが、これは十五世紀のイギリスで星の配置が変わると、天空から感応力(すなわちインフルエンス)が働いて、何か得体の知れない不気味な霊感が地上に下り、人々が高熱と咳に襲われると信じられていたそうです。「インフルエンザ」という言葉は、こうした言い伝えの「インフルエンス」に起源をもつと言われています。

鼻汁、咳、くしゃみ、喉の痛

きつてもきれいな病気の一つになつてしまいました。乳癌で命を失わないように、乳癌検診(自己検診も)を是非みなさまが受けられることを切に願います。当院には、乳癌専門医、認定医、認定マンモグラフィ読影医、認定マンモグラフィ撮影技師がおりますので、なんなりとご質問がありましたら、お気軽に外科外来に受診していただければ幸いです。

検査科技師長 影山 洋吉

みなどの症状がでて、これに突然の高熱と頭痛が加われば、典型的なインフルエンザの症状といえるそうです。

インフルエンザの原因はウイルスです。空气中に飛散したインフルエンザウイルスが鼻腔内に浸入し、急激に増殖することにより発症します。インフルエンザウイルスは低温と低湿度を好むとして人間の密集した場所を好むそうです。

また、水や石鹸に弱い性質があるので、うがいとか石鹸での手洗いをこまめに行うことが予

平成18年10月1日からの健康保険等の変更点について

医事課 山尾 吉宏

平成18年10月1日より健康保険等が改正されました。今回の変更点は主に2点となっています。

- 1点目は、70歳以上の高齢者で現役並の所得の方の窓口負担割合が、2割から3割に変更。
- 2点目は、1ヶ月当たりの自己負担減度額の変更と、70歳未満の上位所得者の基準の引き下げであります。

詳しくは下記の表を参照していただきたいと思いますが、不明な点がありましたらいつでも当院医事課、または保健者(老人保健はお住まいの市町村)までお問い合わせください。

◇平成18年10月1日からの健康保険法等の変更点

- 1. 70歳以上の高齢者(現役所得並みの所得の方)の窓口負担割合の変更(2割 → 3割)
- 2. 1ヶ月当たりの自己負担限度額(高額医療費)の変更と70歳未満の上位所得者の基準の引き下げ(70歳未満、70歳以上とも一般、上位所得者の自己負担減度額(高額医療費)が変更)

1. 70歳以上の高齢者の窓口負担割合が変わります。

現役並みの所得を有する
高齢者の窓口負担割合 2割 → 3割

【現役並の所得者となる基準】

課税所得 145万円以上(月収28万円以上)及び
収入 高齢者複数世帯 520万円以上
高齢者単身世帯 383万円以上

※公的年金等の見直しに伴う現役並の所得者の経過措置

公的年金等控除や高齢者控除の見直しにより、現役並の所得者となる70歳以上の高齢者の方々については、平成18年8月から(※)最大2年間、月ごとの自己負担減度額は、現役並みよりも低い「一般」の額が適用されます。

【経過措置の対象となる方の一部負担金等】

窓口負担割合 3割 外来限度額 12,000円
自己負担減度額44,400円

(※)健康保険者・船員保険等においては平成18年9月から

2. 1ヶ月当たりの自己負担減度額が変わります。

一部負担金については、以下の額を超えた額が、申請により、保険者又は市町村から払い戻されます。

◆70歳未満の方

区分	1ヶ月当たりの自己負担限度額
上位所得者 (月収56万円以上) (※)	139,800円 + (医療費(10割) - 466,000円) × 1% < 77,700円 >
一般	72,300円 + (医療費(10割) - 241,000円) × 1% < 40,200円 >
低所得者 (住民税非課税)	35,400円 < 24,600円 >

(※)国民健康保険においては年間所得670万円超

区分	1ヶ月当たりの自己負担限度額
上位所得者(※) (月収53万円以上) (※)	150,000円 + (医療費(10割) - 500,000円) × 1% < 83,400円 >
一般	80,100円 + (医療費(10割) - 267,000円) × 1% < 44,400円 >
低所得者 (住民税非課税)	35,400円 < 24,600円 >

(※)国民健康保険においては年間所得600万円超

※人工透析を要する70歳未満の上位所得者については、1ヶ月当たりの自己負担額は1万円から2万円に変わります。

◆70歳以上の方

区分	1ヶ月当たりの自己負担限度額
現役並みの所得者 (課税所得145万円以上(※))	72,000円 + (医療費(10割) - 361,500円) × 1% < 40,200円 >
一般	12,000円 40,200円
低所得者 (住民税非課税)	8,000円 15,000円

(※)国民健康保険においては年間所得670万円超

区分	1ヶ月当たりの自己負担限度額
現役並みの所得者 (課税所得145万円以上(※))	80,100円 + (医療費(10割) - 267,000円) × 1% < 44,400円 >
一般	12,000円 44,400円
低所得者 (住民税非課税)	8,000円 24,600円
低所得者 (80万円以下等)	15,000円

(※)国民健康保険においては年間所得600万円超

(注) < >内の金額は、多数該当(過去12ヶ月に3回以上の高額療養費の支給を受け4回目の支給に該当)の場合。

詳しくは、御加入の医療保険の保険者(老人保健はお住まいの市町村)までお問い合わせください。

琴平山の中腹、金刀比羅宮の本宮横の展望台から見える風景は大きく、広く、豊かである。

讃岐平野が見事である。琴平、普通寺、そして多度津、丸亀、その向こうには宇多津、坂出と続き、左手には瀬戸内の海が広がっている。その瀬戸の海には本島、広島、高見島などの塩飽の島々が

浮かび、白く光る瀬戸大橋が造形美を見せてくれる。対岸の児島や水島も一体となつて、平野の美しさを盛り上げてくれる。

私の住んでいる多度津には、小高い丘ともいえる桃陵公園がある。ここは桜の名所、多度津港を見下ろす眺めもなかなかのものである。山の北側、下には美しい瓦屋根の民家が今でも昔の風情を残して、私たちの目と心を癒してくれる。南に目をやると、遙か彼方に阿讃の峰々が美しいカーブを描いて立っている。西には象頭山(琴平山)があり、それに続いて普通寺の山号ともなっている五岳の山が、あたかも寺を守るように立っている。また東方には、遙か彼方に五色台があり、その手前に青山が配されて大きい空間を形成している。

この南方と西方と東にある山々の中央に、すり鉢型の飯野山が存在して、この風景を引き締めているのがとてもすばらしい。この山を私たち讃岐人は讃岐富士と呼んで、愛で崇めている。日本人は富士が大好きである。日本各地に〇〇富士というのがある。蝦夷富士、近江富士、薩摩富士と言うように各地方の人々が名付けた山があるのは、人々が自分たちの住んでいる環境を大切に思っているからだろうか。我が讃岐富士はその中でも特に美しい山であると自画自讃するのだから、そこに住む人間と、それを取り囲む環境が人に与えるものは大きいのだろう。この讃岐富士は琴平側から見ると美しい円錐形になっていて、宇多津方向から見ると左手の頭が少し傾いていて格好が悪いのだが、そのことについては讃岐の人たちはちゃんと言い訳をしている。



讃岐人

速水史朗 (彫刻家)

『大昔、ここ讃岐には山造りの大好きな巨漢がいました。この大男は「オジョモ」という名前でした。オジョモはせつと土を盛り上げて山を造りました。いつもの山より美しい形に仕上がったのが、そのことについては讃岐の人たちはちゃんと言い訳をしている。』

で、オジョモは喜びとてもいい気分になり、その山とこんぴら山にまたがって小便をしてしまったのです。そしてその小便のあとが土器川になりました。その時新しい山を少々傷めたのが、宇多津方向から見える飯野山のへこみでした。』

こんな讃岐の昔話をみても、我が讃岐富士をその昔からこの地に住む人たちが、どれほど心の糧として暮らしていたかがわかるのが嬉しい。

この中讃地区の讃岐平野の空間は、物理的にみると大変狭いところなのだが、感覚的には巨大空間となって我々を包み込み育てているから、我々讃岐人がおおらかに文化的なのだと思っっている。物事は物理的に考えるばかりでは良くない。豊かなこの平野が教えてくれるものを大切に毎日を過ごしていくことで、日本一狭いと言われる讃岐が、実は日本一豊かな空間に住む人々に与えてくれているのだと思うことから、色々なことの出発点としたものである。

私はこの優れた空間のおかげで、作品が讃岐の風土そのままに、豊かでやさしいものになっていくのだという自覚を持って仕事をしている。公共の場に置かれる作品は、その場の風土や人々を無視しては成り立たないのは当然のことである。この地で生まれ育った一人の彫刻家は、全身にこの讃岐の風土を受け入れて、自分なりに咀嚼して新しいものを創り出すのだが、それは讃岐人だからこそ、讃岐人ならではの造形でありたい。

防になると言われています。

報道でもあったように香川県下の昨シーズンのインフルエンザ患者数は九千五百一人でワクチン使用量は二十三万四千本であったそうです。今シーズンは六百九医療機関で使用できる分として、二十七万八千本のワクチンが用意されているとのことです。

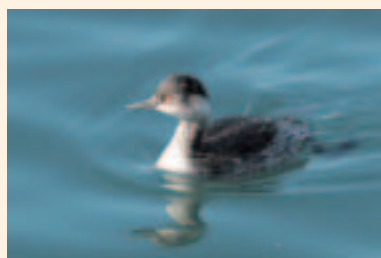
読者のみなさん、罹る前の予防としてワクチン接種もお勧めいたします。

(引用文献：根路銘国昭氏「ウイルス探検」光文社より)

● 労災病院周辺で見られる鳥 ●

ハジロカイツブリ

主任薬剤師・吉村正則



カイツブリより一回り大きい。カイツブリ同様盛んに潜水して小魚等を捕えている。冬鳥として溜池や海上で少数が見られる。背中が黒く、首が白く見えるので解り易い。近くで見ると赤い目と少し上に反った嘴が特徴的だ。

外来診療予定表

診療科	時間・診察室	月	火	水	木	金	
内科	午前	一診	多田	永田	多田	荒木	滝本
		二診	荒木	水尾	三好	佐藤	永田
		三診	寺西	三好	吉永	寺西	吉永
		四診	山本	井上	滝本	山本	井上
		五診	佐藤	木口	石原	木口	石原
循環器科	午前	一診	曾根	渡邊	佐伯	水尾	曾根
		二診	佐伯		松浦	渡邊	
	午後		ペースメーカー(第2,第4)			振動	
外科	午前	一診	鶴野	津村	鶴野	村岡	津村
		二診	村岡	立本	國土	木村	小林
	午後		呼吸器 津村		※乳腺 鶴野・村岡		
整形外科	午前	一診	森谷	善家	横山	前原	井上
		二診	前原	高田	井上	森谷	横山
		三診	高田		生熊		善家
	午後	リウマチ外来		リウマチ外来		小児外来	
リハビリテーション科	午前	生熊	田村	高田	生熊	高田	
形成外科	午前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中	
脳神経外科	午前	一診	藤本	吉野	合田	藤本	吉野
		二診	柚木	合田		平下	
メンタルヘルス科	午前	一診	小山	小山	小山		小山
		二診	井上		井上	井上	井上
泌尿器科	午前	一診	西	西		西	西
		二診	水野	倉繁	水野	倉繁	水野
産婦人科	午前	一診	川田	大倉	川田	木下	大倉
		癌検診	木下	木下	大倉	川田	木下
	午後	産科予約検診	大倉		木下		川田
		産後検診				交代制	
眼科	午前	一診	小見山	小見山	小見山	小見山	小見山
		二診		國土	國土	國土	
耳鼻咽喉科	午前	一診	森下	丸中	森下	丸中	森下
		二診	丸中	平田	平田	(平田)	平田
	午後			小児外来,腫瘍外来			
歯科口腔外科	午前	一診	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷
		二診			山田		
麻酔科(ペインクリニック)	午前	一診	北浦	戸田	北浦	鈴木	北浦
		二診	前田				小路
ストマ外来	午前		佐藤看護師		佐藤看護師		

※乳腺外来 鶴野(第1・3・5木曜日)・村岡(第2・4木曜日)

健診部

日帰りドック……………1日20名 火、金曜日
 一般健診……………1日20名 月、水、木曜日
 脳ドック……………1日1名 月、火、木曜日
 雇入時の健康診断) ……1日30名 (隔週)水曜日
 定期健康診断

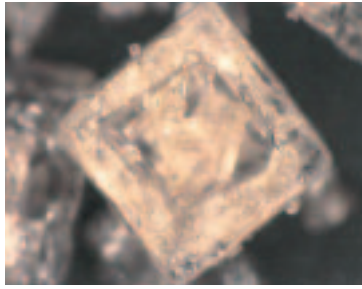
海外派遣労働者の健康診断……………随時
 特殊健康診断……………随時
 振動障害健康診断……………1~3名 金曜日
 健診車による出張健診……………月~金曜日
 丸亀市住民検診……………月~金曜日

※全ての健診は予約が必要です。 ※健診の曜日は変更になることがあります。

- 当院は、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。
- 健診の結果、二次検査が必要となった場合、内科系・乳腺外来のみ当院で予約を行っております。

塩のはなし

主任栄養士 奥村 誠子



実体顕微鏡でみた岩塩の結晶。ダイヤモンドのようにきれいですね

「塩」と聞いてみなさんは何を連想されますか。おにぎり、塩焼き、枝豆、漬物；たくさんの料理や調理法が浮かんでくるのではないのでしょうか。味には塩味、甘味、酸味、苦味、旨味といった基本の味がありますが、中でも塩味は多くの料理に使われています。調味料以外にも漬物や水産加工品など食品の保存や味噌、醤油の醸造などに使用され幅広く活躍しています。

また、塩は身近な調味料としてだけでなく、私たちの体にとって絶対欠かすことのできない成分で、血液の浸透圧を調整したり、胃酸の成分となるなど体内でも大切な働きをしています。しかし、生きていくのに欠かせない塩も摂りすぎると体のためになりません。21世紀における国民健康づくり運動である「健康日本21」においても、成人1人当たりの平均摂取量を10g未満にすることを目標にあげています。ちなみに平成16年度の国民健康栄養調査では11・2gという結果がでています。

塩は別名「塩化ナトリウム」といい、「NaCl」と表示されます。お菓子や加工品などではナトリウム(Na)量で表示されている場合もありますので、次の式を参考に塩分量を計算して下さい。

塩分(g) = Na(mg) × 2.5 ÷ 1000

塩味はおいしく感じる範囲がせまく、調味加減が難しいものです。一般には汁物で食塩濃度1%弱、煮物で2%弱がおいしく感じるといわれています。ただし一度に多量に作る場合は、不思議に塩辛くなるため、この場合は1人分の倍数よりも少し少なめにするのがおいしく作る秘訣のようです。また甘味や旨味を引き立てる作用もあり上手に利用したいものです。

お薬アンケートのお願い

薬剤部 廣畑 京子

当院では、入院される患者さんにお薬のアンケートをお願いしています。患者さんが服用されているお薬や健康食品が、入院中に医師が出されるお薬と相互作用がないか、手術前に服用を中止しなければいけないお薬を服用していないかなどを確認する為です。

アンケートの内容は、アレルギーや副作用の有無、今まで患った病気、現在服用されているお薬、中止しているお薬について

です。入院前にそれを記入していただき、入院時に入院受付のところでアンケート用紙を提出してください。担当者がアンケート用紙を回収する時に、現在服用されているお薬がある場合は、お薬やお薬手帳をお預かりいたします。後ほど薬剤師がお伺いし、お薬やサプリメント、健康食品などを確認させていただきます(お薬手帳や薬剤情報などがありましたら、合わせてお持ち下さい)。現在服用し

ている薬がない患者さんには、薬剤師がアレルギー経験や副作用経験を確認させていただきます。特に、手術を受ける目的で入院される患者さんは、血液をサラサラにするお薬を直前まで服用されていますと、手術中に出血があつた場合には血が止まりにくくなる恐れがあります。お薬によって注意しなければいけない期間はそれぞれ異なりますが、服用を中止したり減量したりするなどの注意が必要です

東5病棟は、内科・循環器科の病棟です。内科では血液疾患の患者様が多く入院されています。治療の多くは、化学療法が主体となるため、その合併症として感染症にかかりやすくなります。そこで感染予防のためにクリンルーム(無菌室)を設置しています。

また循環器科では、虚血性心疾患、狭心症や心筋梗塞、心不全の患者様が多く入院されています。特に、虚血性心疾患

(医師等から事前に説明があるので大丈夫です)。また、最近ジェネリック医薬品が処方されていることもあり、名前を聞いただけでは何の薬かわからない場合もあります。そういう薬のすり抜けがないように、薬剤師がチェックを行います。入院中に医師や看護師などから、同じような事を何度も聞かれることがあると思いますが、より安全な薬物治療を受けていただく為です。御協力を宜しくお願いいたします。

病棟紹介

東5病棟 松井三恵子



東5病棟は、内科・循環器科の病棟です。内科では血液疾患の患者様が多く入院されています。治療の多くは、化学療法が主体となるため、その合併症として感染症にかかりやすくなります。そこで感染予防のためにクリンルーム(無菌室)を設置しています。

また循環器科では、虚血性心疾患、狭心症や心筋梗塞、心不全の患者様が多く入院されています。特に、虚血性心疾患

は増加傾向にあり、生活習慣による影響(高血圧や糖尿病等)が大きく、再発予防には食事療法や薬物療法の継続が重要となってきます。そこで、私達は、患者様に生活指導を含めたケアを行っています。

このように、さまざまな患者様が入院されていますが、医師・看護師だけでなく、薬剤師や理学療法士など他職種と連携しながら、患者様に安心して検査・治療を受けていただくように、東5病棟スタッフ一同笑顔で取り組んでいます。

病棟紹介

西5病棟 柳原 里香

みなさんこんにちは。私たちは西5病棟は、食道・胃・腸・胆嚢・膵臓・肝臓・肺・乳房・甲状腺などの手術を目的に入院される患者様が多く、最近では腹腔鏡の手術が増えています。手術を受ける患者様の多くは、さまざまな不安・恐怖をいだかれています。そのため、私たちは手術前・手術後、さらに退院後のイメージがつくようにクリティカルパスを作成し手術前から手術後の流れを患者様に

説明させていただいています。その中で、患者様一人一人の状況・ペースに合わせて心配なこと、困っていること、わからないことをお聞きし患者様、家族の方が安心して入院生活が送れるように看護しています。スタッフは、みんな個性的で明るく元気で病棟はいつも笑顔が絶えません。また、忙しい中でも新しい知識や技術を身につけるため医師と共に勉強会も行っています。これからもスタッフ全員一致団結し、患者様に少しでもよりよい医療・看護を提供していきたいと思ひます。



です。趣味は自動車、オーディオ、純米酒と言ったところでしょうか。この中の何れかに興味のある方はお気軽に声を掛けて下さい。仕事の面では当院の手術件数の多さに最初の頃は驚いておりましたが、最近はそのれにも慣れてしまいました。非常に忙しいですが働きやすい病院だと思っております。今後とも何卒宜しくお願いいたします。

新任医師紹介



麻酔科副部長 鈴木 勉

平成18年5月より麻酔科に勤務しております。鈴木勉と申します。出身は秋田県で四国では東北出身者に巡り会うことは滅多にないのですが、当院では東北に住んだことのある先生方が数人おられるようで内心嬉しく思っております。

平成18年4月より当院でお世

お知らせ

○クリスマスロビーコンサート
日時 12月7日(木)15時〜16時
場所 労災病院外来1階ロビー
出演 丸亀ギター・マンドリン倶楽部

○年末年始の休診
12月29日(金)〜1月3日(水)
※救急患者さまについてはこの限りではありません。



第三脳神経外科部長 合田 雄二
話になつておられます。生まれ

は香川県の西の方で、その後の20年間を詫間および坂出で過ごしました関係で、外来でもついでそのあたりの方だと親近感を覚えます。趣味は？と聞かれると、最近「家庭サービス」と答えることにしています。当院に来て一番驚かされたことは、端末からいつでもどこからでもどの患者さまのオーダーリングシステムにアクセスできることで、単に病棟のみならず、病院全体さらに地域全体のチーム医療を進めていく上での大きなツールであるとの印象を強く受けました。本年の脳卒中週間の標語は「一

分が分ける運命「脳卒中」でした。昨年10月から遺伝子組み換え組織プラスミノゲンアクチベーターが認可され脳卒中特に脳梗塞治療の大きな転換期になろうとしています。当院が地域の脳卒中診療の上で、大切な役割を担う病院であるという認識の上に立ち、少しずつ自分のできることを増やしていこうと思つているこのごろです。どうか今後ともよろしく願ひ致します。



整形外科副部長 吉 善家
9年に産業医

大を卒業しました。学生時代はハンドボール部とワンダーフォーゲル部に所属し、貧乏海外旅行を行うことが楽しみでした。卒後は仙台市の東北労災、下松市の周南

記念、北九州市の産業医大、熊本市の西日本、広島市のマツダ(株)健康推進センター、佐世保市の長崎労災と全国各地の病院等を勤務したので色々な大学の先生方と知り合う機会を得ました。生まれは東京ですが、父親の郷里が愛媛です。四国には縁があります。瀬戸内の気候のせいでしょうか？

人情味の厚い方が多く働きやすい職場ですね。明るい整形外科を維持していくことも前任より私に課せられた命題です。多くの関係者方達と良い医療を提供するためにどんどんコラボレーションしていきたいと考えています。また、年末には手の外科・マイクロスコープの向上のため新潟手の外科研究所に修行に行く予定です。体力の続く限り働き続ける覚悟ですので今後も宜しくお願いします。

編集だより

読者サービス向上委員会 津村 眞

今年も残りわずかとなりました。振り返ってみると、トリノオリンピックで始まり、フイギュアスケートでは荒川静香さんが金メダルをとり、日本国中がわきました。しかし、最近では、若者のいじめ自殺問題などが発生し、日本の将来が危ぶまれております。

「いぶき」も発刊第22号となりました。そろそろ内容を見直す時期にさしかかっていると思ひます。読者の皆様からの率直なご意見をお待ちしております。なお、今年もインフルエンザが流行りそうです。早めの予防注射をおすすめいたします。